



目次

I. 2016年度の延長している研究テーマを紹介→	40~41 ページ
II. 2017年度選考状況について→	42 ページ
本の紹介『「孤独」は消せる。』→	42 ページ
III. 「情報とモラル-2. 電子メールのマナー-」→	43 ページ

## I. 2016年度の延長している研究テーマを紹介

サイエンスメンター事業の利用期間は原則として1年間ですが、翌年に再申請していただくことは可能です。また前年度に行った研究成果をまとめる等の理由で、選考委員が判断し、メンティ・メンター・学校の先生が希望した場合には半年間の延長が認められます。

2017年度は開始時期を変更したため、①再申請しても継続して研究できないメンティは、例外として再申請された研究が、審査し採択されたのち開始されるまで、延長してメンター指導をうけています。また、②研究内容をまとめる等で半年間延長されている研究と合わせてご紹介します。

①タイプの研究は以下の3件です。8月まで延長となります。

メンティ：右田陽さん（私立攻玉社中学高等学校2年）

研究課題：冷却処理によるヤマトシジミの斑紋異常

担当教諭：横田直樹先生

メンター：国際基督教大学名誉教授 加藤義臣先生

メンティ：伊藤平さん（国立名古屋大学教育学部附属中・高等学校2年）

研究課題：磁石とバネの衝突におけるエネルギー変換

担当教諭：大羽徹先生

メンター：元名古屋大学大学院 理学研究科准教授 三浦裕一先生

メンティ：大久保和樹さん（国立鈴鹿工業高等専門学校4年）

研究課題：量子力系の現象についての研究

担当教諭：仲本朝基先生

メンター：元東京大学教授 波田野彰先生

次に②タイプの研究は以下の3件で9月一杯までの延長となります。

メンティ：増田英敏さん（私立海城中学高等学校3年）

研究課題：葛生地域に分布する礫性石灰岩の堆積環境

担当教諭：山田直樹先生

メンター：佐野市葛生化石館 学芸員 奥村よほ子先生

メンティ：鈴木湧平さん（茨城大学理学部1年）

研究課題：流星による熱圏・電離層の観測

担当教諭：齋藤弘一郎先生

メンター：高知工科大学大学院 電子・光システム工学コース 教授  
山本真行先生

メンティ：原口凌さん（宮城県立都城工業高等学校3年）

研究課題：岩石のでき方、特徴どういう成分で出来ているか

担当教諭：木村英二先生

メンター：熊本大学先端科学研究部理学系・教授 西山忠男先生

#### 葛生地域の地質

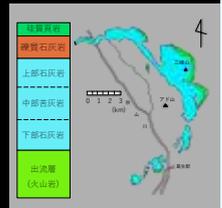
ペルム系の海山-礫複合体が分布

- ・石灰岩：鍋山層
- ・火山岩：出流層

鍋山層は岩相によって3部層に区分

赤道付近で堆積

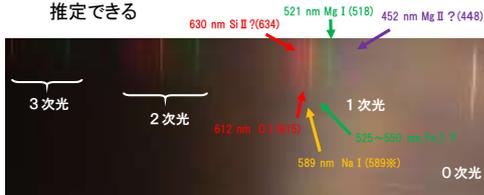
- ▶ ジュラ紀に日本へ



増田英敏さんの2017年3月研究発表会時、  
パワーポイントデータより

#### 4. 観測結果(2)

- ・2016年8月13日に撮影したペルセウス座流星群
- ・3次光まで写り、1次光にて5種類の波長を特定
- ・ウィーン変位則より、発光時の温度は約4600°Cと推定できる



鈴木湧平さんの2017年3月研究発表会時、  
パワーポイントデータより

#### (4) ミヨウバンによる結晶化モデル実験

- ・自由空間で成長した結晶
- ・底にできた結晶（壁有り）



原口凌さんの2017年3月研究発表会時、  
パワーポイントデータより



### Ⅲ. 「情報とモラル-2. 電子メールのマナー」

次に首都大学東京 松山先生のコラムをお届けいたします。先月号から“情報とモラル”についてお書きいただいておりますが、これは高校生だけではなく、社会人になっても必要な知識ですのでよくお読みください。松山先生にこんなことを聞いてみたい！こんな質問したいという方は加瀬までご連絡ください。

今回のコラムも「情報とモラル」です。しかしながら、「情報とモラル」は常識的なことばかりで、正直あまり面白くないです。そこで今回は、その中でも、筆者が重要だと考えていることを挙げます。

それは電子メールに関することです。電子メールでは適切なタイトルをつけることも重要ですが（そうしないと、迷惑メールだと思われて、読まれないままゴミ箱に直行します）、本文中に、誰から誰に宛てたメールなのかを書く必要があります。筆者には1日80通ぐらいメールが来ますが、その中には業務上Cc:されてくるもの（カーボンコピーの略で、他人宛てのメールがこちらにも送られてくること）が多数あります。そのため、「松山様（もしくは松山先生）：〇〇です。」という書き出しで本文が始まるものしか読みません。

メールには最後に自分の署名を入れましょう。署名には、所属・氏名を入れることはもちろんですが、郵便が届く連絡先と電話番号・Fax番号を入れておくともよいです。電子メールは便利ですが、時々、他人に郵便を送る必要が出てくる場合があります。そういう時に、筆者は他人のメールの署名を見ながら、郵送先を封筒に手書きしています。名刺をいただいても異動があったり、名刺そのものが出てこなかったりして、郵送先が分からないことがよくあるのです。一方、メールアドレスを署名に書く必要はありません。なぜなら、受け取ったメールのヘッダーを見れば、メールアドレスは一目瞭然だからです。

もう一つ、添付ファイルのサイズには気をつけましょう。ブロードバンドの時代になったとはいえ、メールに添付してよいファイルのサイズは1MB程度だと筆者は考えています。これ以上の大きさのファイルをメールで送る場合には、事前に相手に連絡して確認しましょう。確認が面倒な場合には、「宅ふぁいる便」(<https://www.filesend.to/member/login.phtml>)などのファイル転送サービスを利用しましょう。要は、常に相手の状況を考えるということです。

#### 【松山先生のプロフィール】

首都大学東京 都市環境科学研究科 教授。日本科学協会商議員。2014～2016年度日本科学協会サイエンスメンター。専門は広い意味での水循環。皆さんの高校で使っているかもしれない、二宮書店の「地理A, B」の教科書を執筆しています。

#### ～事務局 加瀬より～

今年は梅雨明けが早く東京では水不足が心配ですね。事務局では7月からいろいろな場所に出向いて面談を行っており一番バタバタする時期ですが、メンティ候補に会って話すことができるので、楽しみの一つでもあります。メンティ・先生・メンターのどなたでも、ニュースやニュースレターに関して、ご希望があれば遠慮なく事務局にご連絡下さい。また、こんな情報を載せたい・知りたいという要望も大歓迎です。

発行元： 公益財団法人 日本科学協会 企画室

サイエンスメンターニュース 第3巻 第6号 (通巻32号)

発行日：2017年7月 24日

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F TEL:03-6229-5360 FAX:03-6229-5369

URL: <http://www.jss.or.jp/ikusei/mentor/>

E-mail: [kikaku@jss.or.jp](mailto:kikaku@jss.or.jp)